

協議会ニュース 94号

愛知県自然観察指導員連絡協議会 2004. 5



奥三河の四季
『イチヨウラン』

ラン科イチヨウラン属

数年前に見たことがあり、以後毎年注意をしていたが見たことが出来なかった。この年知人から「イチヨウランが咲きました。」との知らせで飛んで行った。今まで時期を間違えていたのか、やっと違うことが出来た。 2002.05.12 撮影
花茎の高さ：20cm 前後
花の直径：2cm くらい

Photo: 近藤 守

●特集 3月20日「平成16年度総会」

レポート: 菅竹 善行P2~3
新会長挨拶: 中西 正P4
・支部だより(東三河・奥三河・知多・西三河)P5~6
・会員のページP7
・観察会あれこれP8
・Web ページ紹介P9
・理事会だよりP10
・事務局だよりP11
・編集部だより・行事予定 他P12

平成 16 年度総会の概要

平成 16 年 3 月 20 日の午後 1 時から 4 時まで、名古屋 NPO センター会議室で会員 33 名の出席で総会が開催され、活発な議論がかわされました。

1 開 会

2 会長あいさつ



3 議長選出

前半の議長として中西副会長を、後半の議長として松尾副会長を選出しました。

4 平成 14 年度決算・15 年度補正予算

(1) 平成 14 年度決算

決算報告と監査報告があり、承認されました。

(2) 平成 15 年度補正予算

補正予算の説明があり、承認されました。

5 平成 16 年度通常総会

(1) 第 1 号議案（平成 15 年度事業報告）

事業報告があり、承認されました。

(2) 第 2 号議案（平成 15 年度決算報告）

決算報告に関し、受託事業と会員の会費納入状況について質疑応答

がありました。

会計処理は適正になされていたとの監査報告と、次の 2 点の要望があり、決算報告は承認されました。

①銀行の口座と郵便局の口座を利用して出納をしているが、1 本化することが望ましい。②会費の振込手数料を負担している人と負担していない人がいるので、会員負担で統一するよう改めてほしい。

(3) 第 3 号議案（規約改正）

規約改正について審議され、一部修正を加え、承認されました。主な質疑等は次のようなものでした。

<会計年度>

○年度の区切りが 1 月末になっているが、3 月末に変更できないか。

○観察会は 4 月から忙しくなるので総会を 3 月に開催することとしており、そのためには 1 月末で締めないと決算ができない。なお、支部は独自に会計年度を決めて差しつかえない。

<家族会員>

○会員は平等でなければならず、家族会員は置くべきでない。

○会員に対して使われる経費として機関誌の送料が多くを占めるので、家族に 1 通送付することとして、会費を割り引いて参加しやすくしている。
◎採決の結果、規約第 5 条第 2 号を修正して「家族会員として扱うことができる」こととなりました。

<役員の選任方法>

○役員の選任方法が規約にない。

○規約検討の途中で、選任方法が抜けた。

◎規約第 10 条第 3 項に、会長、副会長、事務局長、会計は理事の互選によることを加え、3 項の監事の規定を 4 項に繰り下げることで了承されました。

<理事会の招集>

○理事会は事務局長ではなく会長が

招集すべきである。

○招集の実務を考え事務局長とした。

◎実際には事務局長が仕切ればよいが、規約上は会長の権限とすることになりました。

(4) 第4号議案(役員の選任・承認)

次の役員が承認されました。

会長	中西正	
副会長	鬼頭弘	松尾初
監事	南川陸夫	脇田孝仁
理事	石田晴子	井城雅夫
	大谷敏和	近藤記巳子
	齋竹善行	佐藤国彦
	巾賢治	苅川真弓
	堀田守	吉川洋行
	山田博一	今泉洋良
	梶野保光	滝田久憲
	降幡光宏	三田孝

(5) 第5号議案(平成16年度事業計画)

事業計画案が説明され、承認されました。なお、一部資料の訂正があ

りました。

(6) 第6号議案(平成16年度予算)

予算案の説明があり承認されました。

(7) その他

愛知万博について協議会としてどう対応するのかなど問題提起があり、今後、理事会などで検討することとなりました。

6 閉会

茶話会

せっかく会員が集まったので、総会終了後、茶話会が開催されました。

西三河自然観察会の20周年記念のCD-ROMを使って、これまでの活動記録が紹介されました。

(以上、総会と茶話会の報告は齋竹)

ワークショップ「コミュニケーション」に参加して

新宅英夫 (名古屋支部)

「ん・・・・・・・・。これはなんだろう。?????」

突然ですが、ワークショップの始まりに対して、シャイで、内気で、無口で、ナイーブなわたくしめが素直に感じた印象は、言葉に出すならこんな表現でしょう。

四角、三角の右下やら真中に次の四角がつながって・・・・・・・・。

自然観察指導員とはなんと因果なものなのか、人と話すより自然との対話の時間を大切にしたいわたくしが、コミュニケーションを深めるための訓練をしなくちゃならないなんて、トホホホ!!!!

という訳で、愛知県自然観察指導員連絡協議会の本年度総会は「カオスとカカオと混乱の大ブレイク」がプレイベントとなった次第でありました。

さて、本題のコミュニケーションですが、6人ほどのグループで、観察会

をしているの失敗や、あの時こうすればよかったと感じたことなどを自由にカードに書き込み、大きな紙に関連のあるカードをまとめて貼り付け、全員の納得できる結論を出すという、いわゆる川喜田二郎方(いわゆるKJ法)により、これからの観察会をより充実したものとするための議論をまとめようとなりました。

ふだんはなかなか顔を合わせることもない自然観察指導員どうしても、このようなワークショップに参加することにより、お互いの性格や話し方を理解し合うよい機会となりましたし、結構楽しい時間を過ごせたと思います。

「ところでワークショップの結論はどうなったのか」ですって?

もちろん、「楽しくなければコミュニケーションではない。楽しくなければ観察会ではない。」が結論です。

変換点の協議会 みなさんの協力を



会長 中西 正

今までのこと

3月の理事会で私が会長に選出された際、その任の重さを考え辞退しました。しかし、降幡さんから「会を混乱させるな」という一言があり、会長を引き受けざるを得なくなりました。現在、協議会は変換点にあり、この役は私にとって非常に重荷です。皆さんの協力を得なければやっていけません。協力を得るために私が協議会について考えていることを記し、挨拶に代えさせていただきます

協議会ニュースには時々書かせてもらっています。手元に協議会ニュースがありましたら見てください。78号(2001.4)は20周年記念号でしたが、ここでは20年経った協議会の組織とその動きを心配した内容でした。91号(2003.11)は、心配していた組織を検討する会(検討委員会)に参加しての感想でした。そしてその中には、年度の節目にそれまでの副会長を辞するということを含ませておきました。

変わらなければならないこと

91号での原稿は、検討委員会の外見からの感想でしたが、その中身ではいろいろ勉強させて頂きました。検討委員会の主題は協議会を活性化することではなかったかと思います。この延長線に新生協議会があります。新しい発想で、多くの方の考えを入れ、多くの方が動くことが大切です。これは、理事会も協議会も同様です。そのためにはどうすればいいのか。答えはおぼろげながら見えています。ヒントは各支部が行なっている中にあり、そのよい所を集めればいいのではないのでしょうか。兎に角、協議会は変わらなければならない。

あまり規約だとか組織だとかという話題で停まっていたくないですね。

変わらないこと

本会は400名もの会員がいます。それが愛知県全体に広がっており、地元の自然を見つめている。それも非常にレベルの高い方ばかりです。ただ、職業も違えば、考え方も異なる人間の集まりです。自然について考える時でも、その方法にはいろいろあるはずです。これしかない、この方法が絶対ではなく、お互いを認めることを基本にしたい。この考えは今までの協議会が貫いてきたことです。これをベースに置けば、多くの方が参加できる協議会になると思います。

400名の集団の強さを自然のために使いたいものです。

平成 16 年度東三河支部総会報告

事務局 間瀬 美子

日時場所：1月31日(土)午後3時 豊橋グランドホテル 出席者：35名
委任状提出…17名 議長…丸山 嵩 監査…稲垣隆司

グランドホテルは、会員の関本さんの勤務先、リッチな雰囲気の総会でした。今年は、会始まって以来、初めて30人を越し、何と35人の出席者を数えました。先の講習会で新しく会員になった皆さんも全員加わって、そのにぎやかかいこと。開会に先立って、一回り簡単な自己紹介をしました。議題は、例年どおりで昨年度の報告と今年度の計画が中心です。昨年度は、NPO法人の認定を受けたので、事務量も多く、会計さんも苦労の連続だったようです。また、観察指導の依頼も、いつもより沢山ありました。吉祥山の定例観察会は年間通して熱心に参加される方もあり、好評でした。4回の地域観察会は、天候のせいとか時期のせいとか、参加者の数の伸び悩みが気に掛かります。宣伝方法など、今以上に考えなくては。

今年の定例観察会は、田原市の稲荷山から滝頭公園のコース、地域は、4月の新城市大原調整池、6月の蒲郡竹島海岸、8月の豊川財賀寺、11月の豊橋善門寺に決定。お楽しみの一泊研修は、久し振りの神島。いつも手回しのよい神戸さん、魅力いっぱい解説に、みんなうきうき気分です。総会に続き懇親会は、中西さんの軽妙な司会で、だれもが主役。今年もいい観察会ができそうです。

平成 16 年度奥三河支部(奥三河自然保護研究会)総会報告

事務局 村上 和彦

日時場所：2月1日(日)午前10時 新城観光ホテル 参加者：14名

事務局の村上の司会のもと、開会の言葉に続いて会長の今泉氏の挨拶、続いて私より平成15年度事業報告を行いました。「ふるさと親子自然観察会」は36名の参加者があり、その内ご夫婦で当研究会へ入られた方があり、当日も総会にご主人が参加されました。「支部観察会」は副会長の杉山氏の案内で、オパール球を探して、楽しい1日を過ごしました。また「支部研修会」は夏焼城ヶ山を会員の福地氏の案内で、889mの山頂に立ちました。城ヶ山を守る会の人達は、将来は面の木原生林までルートを延ばすそうです。15年度会計報告がされました。寄付金で賄いましたが、本部よりの交付金がないので、16年度会計予算では、支部会費の徴収が可決されました。16年度事業計画は、8ヶ所の候補案に対して多くの意見がでましたが、決定した時は昼をまわっていました。

16年度事業は「ふるさと親子自然観察会」新城市中字利 比丘尼城址、「支部観察会」津具村 白鳥山、「支部研修会」清内路村 南沢山です。食後、比丘尼城址の下見をして解散しました。

平成 16 年度知多支部総会報告

事務局 畠 烈

日時場所：2月15日(日)阿久比町勤労福祉センター 参加者：45名

新年度方針「自然の大切さ啓発とホームページの積極的な活用」

会員の約半数の出席があり、盛り上がった総会となりました。出席者全員が自己紹介の後、支部代表の挨拶。「今年も自然観察を通して身近な自然の大切さを啓発していこう」「啓発にはホームページを活用していこう」と話された。続いて15年度活動結果と会計報告が行われ、活動では支部大(台)として初めてホームページに関するパソコン研修を行ったこと、会計では年報作成費分が残高となっていることなどの特徴が報告され、いずれも満場の拍手をもって承認された。

新年度役員について、代表は引き続き降幡氏、副代表として庶務、行事、広報、会計を担当の4名が選出され、ホームページの活用を図っていくことから、ホームページ委員も決められた。新年度行事は、春・秋の研修旅行、持ち寄り会、市町からの受託行事やお手伝い10数件、市町単位のミニ観察会89件など、盛りだくさんなものとなった。昼食時に吉川さんからイラン土産の“こんぺいとう”を重ねたような「氷砂糖」が振舞われたり、ふるさと宮崎県に転居される村井さんからたくさんの図書が恵贈され、みなさんで分けたり、観察会記録の上映(パソコン+プロジェクターによる映像)があつて、なかなかにぎやかな、そして意義深い総会でした。

平成 16 年度西三河の自然を知る会支部総会報告

支部長 三田 孝

日時場所：2月22日(日)刈谷市産業振興センター 出席者：17名

平成15年度の行事として支部主催観察会(4/19 小原村篠平、5/17 王滝溪谷、6/28 昭和の森、7/13 闊苅溪谷、9/6 猿ヶ島、10/26 平戸橋、H16.1/4 境川)、地域定例観察会(境川(毎月第一日曜日)、闊苅溪谷(毎月第二日曜日)、平戸橋(毎月第四日曜日)、岡崎自然体験の森(毎月第二木曜日と第三日曜日の2回)、王滝溪谷(春夏秋冬の年4回))の実施が報告されました。

また、20周年記念誌事業として20年の歩みをCD-ROMにまとめられました。

平成16年度は役員が大幅に入れ替わり、会の名称も「西三河自然観察会」に変更されました。事業計画として支部定例観察会を岡崎自然体験の森で4回(4/18、7/18、11/21、H17.2/20)、支部主催観察会を3回(5/16 刈谷市小堤西池、6/27 小原村篠平(親子ふるさと観察会、12/5 愛知こどもの国)、地域定例観察会として5ヶ所(境川：毎月第一日曜日、闊苅溪谷：毎月第二日曜日、岡崎自然体験の森：毎月第二木曜日と第三日曜日、平戸橋：毎月第四日曜日、王滝溪：4/17、7/17、10/16、H17.1/15の4回全土曜日)を計画しました。支部主催観察会(3回)は保険代、資料代として参加費1000円の有料観察会にすること、また、一般への広報、会員の情報交換の場としてホームページを作成することにしました。

渥美半島「越戸大山ヘリコプター離着陸訓練場化」問題

渥美自然の会 大羽康利

愛知県渥美半島には田原市と渥美町にまたがる 20 平方 km ほどの渥美山塊と称される山々が存在しています。その中の最高峰・越戸大山（おっとおおやま）を陸上自衛隊明野航空学校のヘリコプター離着陸訓練場として使う計画が 03 年より持ち上がりました。

渥美山塊の多くは三河湾国定公園第三種特別地域に指定されており、中腹の神社一帯には第一種特別地域に指定された原生林が残されているなど愛知県有数の照葉樹林帯となっています。

この渥美山塊ではハチクマ、サシバ、オオタカの繁殖が確認されており、山麓では毎年繁殖期にサンコウチョウ、オオルリ、ヤブサメなどの夏鳥が観察されています。

伊良湖を渡るタカ・小鳥類に取ってこの渥美山塊が重要な中継・休息地となっていることは容易に察しがつくことと思います。哺乳類もニホンリス、テン、アナグマ等 12 種類が確認されていると公表されています。

渥美山塊は地元中学校が「立志の行事」の一つとして縦断ハイキングを行うなど、園児・児童はもちろんのこと、県内外のハイカーにも良く利用されている山でもあります。

私たち「渥美自然の会」では防衛庁長官宛に「大山をヘリコプター訓練場とするのでなく渥美半島にふさわしい森を復活できるように」との署名活動を昨年 9 月から行ってきました。これまでに日本野鳥の会

（本部）及び各県支部、愛知県野鳥保護団体連絡協議会など 50 近い団体及び 5000 名を超える個人から署名が寄せられ、去る 3 月 30 日に防衛庁長官に提出しました。提出には WWF ジャパンや日本野鳥の会自然保護室の方も立ち会っていただけま

した。自然の会の署名は英訳されて海外にも紹介されており、ドイツの渡り保護団体から寄せられた署名も当日提出しました。

この半年の間にハイキングクラブ関係者も訓練場化反対の声をあげ、大山山麓の田原市越戸町では住民有志が、渥美町土田地区では自治会がそれぞれ独自に「計画中止を求める署名」を各地域住民の 7 割を超える方から集め、市長・町長に提出しました。3 月 22 日には、土田自治会からの陳情を受けた渥美町議会が「反対意見書」を防衛庁長官、環境大臣、愛知県知事にも送ることも決議しています。また自然の会、ハイキング関係者、関係地域住民が一緒になって「大山のヘリコプター訓練場化を認めない会」（事務局 大羽）も組織され、「渥美自然の会」とは別の署名活動も取り組まれています。

3 月 30 日、東京での防衛庁折衝で当局担当者は「渥美町議会が意見書を決議したのだから、住民の理解を得られたとは思っていない。」と語りました。また「日本野鳥の会」本部職員が「タカの繁殖と渡りを考えると 1 月から 11 月までは訓練は認められない。」と述べ、「渥美の自然を歩く会」の方が「11 月から 3 月までが、渥美半島のハイキングシーズンで、同じくこの間の訓練は認められない。」とも述べました。

しかしながら、防衛庁当局者はまだ「ヘリコプター訓練場化の断念」を表明するには至っておらず「何とか折り合いのつく方法は？」との姿勢を取っているのが現実です。皆さんの一層のご協力をお願いしたいと思っています。

なお、詳しくは <http://www.amitaj.or.jp/~y-oba> をご覧になっていただけますようお願い致します。

水の中をのぞいてみよう

齋竹善行

5月ともなると、川や池の水もぬるんでくる頃です。水草などはすでに芽を伸ばしていますが、水温が上がると、水の中で水生昆虫、魚をなどいろいろな生物が活発に活動を始めるようになります。また、田植えに備えて田に水が張られると、前年の秋に産み付けられていたアキアカネやナツアカネの羽化がえってヤゴになるほか、農業用水を通じていろいろな生物が流れてきます。夏になるとヤゴをはじめ水生昆虫は成虫になって飛び出すため水中で見られる個体数は減ってくるので、5月の頃は水の中の生物を観察するのにちょうどよい時期です。



五条川の生物調査をする大口町の小学生

では、水の中に入ってみましょう。裸足でジャブジャブと歩きたいところですが、水の中にはガラスビンなどが捨てられて割れていることもありますので、怪我をしないように長靴か古い運動靴を履いて入りましょう。

岸の近くの水草の根元などを目の細かなタモでガサガサとすくうと、魚、オタマジャクシ、アメリカザリガニ、淡水性のエビ、ヤゴなどさまざまな生き物が入ってきて、子供だけでなく大人も楽しめます。ペットボトルに餌を入れたトラップ(わな)を沈めておいても、こうした生き物を捕まえることができます。四手網や投網があれば、川や池の生き物調べはさらに便利でしょう。

水の中の生き物たちたちは、きれいな水を好むもの、汚い水にも住めるもの、流れのあるところを好むもの、止水域を好むもの、水深の浅い場所を好むもの、深い場所を好むものなど、それぞれ自分に適した場所にたくさん住んでいます。したがって、捕まえた生き物からその水域の環境を評価することができます。こうした生物指標による水辺の調査は環境教育の一環としてよく取組ま

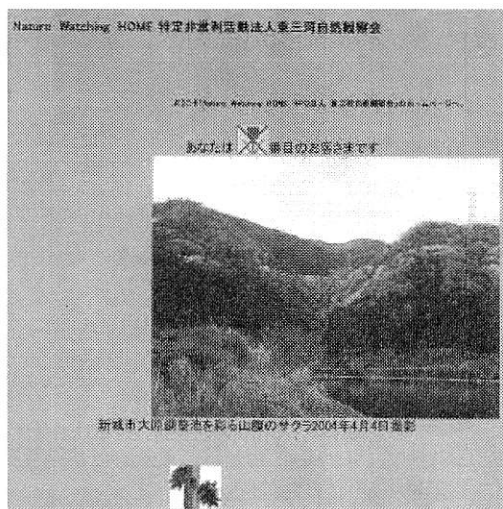
れています。捕まえた生き物の種類や数を記録し続けると、その水辺の環境の変化する様子がわかります。

私たちは、岩倉の自然生態園のトンボ池で、観察というよりは調査になりますが、50センチ四方のコドラート(方形枠)の中にいる底生生物の種類と量(乾燥重量)を定期的に調べています。池の状況の変化を水域の単位面積あたりの生物量を測定し、定量的に変化を追跡しています。

また、最近ではpH、化学的酸素要求量、溶存酸素、窒素、燐といった水質を簡単に測定できるキットも市販されていますので、こうしたものを利用して水質を測定して、生物指標と比べてみると環境と生き物の関係がもっとよく理解できると思います。

東三河支部のWebページの昨今

梶野保光



<http://www5c.biglobe.ne.jp/~kajino/>

NPO 法人 東三河自然観察会 Web ページのあゆみ

東三河支部は2001年、創立20周年を迎え、「路面電車で都市公園めぐりの自然観察会」をはじめ、いくつかの記念行事を行なったが、世の中はIT時代である。創立20周年の初夏、試行錯誤のなかで会のホームページを立ち上げました。一応、愛知県内の支部としてはホームページ第1号でした。当初はアニメーション画像をあちらこちらのページに使いましたが、ページ更新を重ねるうちに、アニメーションはごくわずかになりました。

今もアニメーションが使われているページはWeb ページ開設時に作成したものです。

2004 年春、現在の Web ページの内容紹介 (2004 年 4 月現在)

- INDEXページ(表紙): 東三河地域の自然環境事象の画像(適時更新中)と活動内容、最新情報へのリンク、各ページへのリンク。
- NPO 東三河自然観察会の 23 年: 創立から現在までの歩みを縮小画像を交えて紹介。
- 創立 20 周年記念行事報告: 20 周年記念行事のすべてを紹介しています。

- 2001 年自然観察会実施報告: この年、行われた自然観察会の報告を掲載しています。
- 2002 年自然観察会実施報告: 定例自然観察会や地域自然観察会の様子の掲載頁です。
- 2003 年自然観察会実施報告: 開催案内と当日の様子をリンクしています。
- 2004 年自然観察会のご案内: 2004 年に行なわれる予定の自然観察会を案内しています。あわせて実施報告と当日のテキストも PDF ファイルでご覧いただけます。案内チラシの PDF ファイルもあります。
- 自然おりおり: Web 管理者の日記風の画像集です。
- 自然工房: 会員をはじめとする仲間のエッセイや旅行記を掲載していますが、原稿が集まらず苦心しています。各支部の方のご投稿をお待ちしています。
- NPO 東三河自然観察会特薦リンク集: 会員のホームページをはじめ、役立つ Web とリンクしています。もちろん、各支部の Web ページもリンク済みです。
- NPO 法人東三河自然観察会事務局だより: 事務局からの会員向け連絡など掲載しています。このページから会へのメールも入れることができます。
- 会報「しぜんかんさつ」: 本年度開設したページです。会報を PDF ファイルで読むことができます。
- 2004 年自然観察会実施報告: 今年、実施中の自然観察会の報告と当日、使用したテキスト(PDF ファイル)をダウンロードできます。

Web ページの今後の展望

シンプルで見やすいWeb ページ作成を心がけたいが、日常の仕事の終わった深夜作業が多く、生き物の名称等でたまには間違いもあり、ごらんの皆さんからのご指摘、指導を常に期待しています。今後は、皆さんに Web 運営のヒントをいただき、サイト管理を充実したものにしたいと考えています。

■理事会報告

日 時 2004 / 3 / 6 PM2:00~5:30

場所 なごやボランティア・NPO センター

出席者 17 名

議事

1. 新年度役員及び監事選出・新理事の承認

会長 中西正

副会長 鬼頭弘 松尾初

監事 南川陸夫 脇田孝仁

新理事 井城雅夫

2. 16 年度事業計画 (案)・予算 (案)

事業 (案): 新たな研修 (3 日間設定) を承認 (今後の理事会にて細部を詰める)

予算 (案): 担当の業務内容によって事務負担金を計 50,000 円内で会計より捻出を承認

参考・領収書受け取り不可能のものに対する経費の負担)

経理規定第 8 条について次回に理事会で検討

総会当日の確認: 前半の議長・中西理事

後半の議長・松尾理事

記録・齋竹理事

3. 保険について

・保険料などの再確認・保険担当者 (佐藤理事) に最終決定を一任

・保険適用の場合、当日の名簿提出 (住所・氏名の記入は必須条件) が必要のためサンプルが堀田理事より提示された。(会として統一するか否かは次回理事会にて再度確認又は検討)

・15 年度の保険対象の観察会は実績の報告を行う (各支部長取りまとめ)

・16 年度の保険対象希望観察会は実施日の届けを行う (各支部長取りまとめ)

4. その他

山田理事が下記 2 件を提案

①助成金について: 協議会事業内容とマッチするものがあれば制度活用

②事務局・編集部の手当て制: 2. の予算(案)で検討された内容を補足



①役割分担

会計: 石田晴子

普及: 井城雅夫

研修: 大谷敏和

事務局: 近藤記巳子

名簿管理: 齋竹善行

保険: 佐藤国彦

広報: 巾賢二

機関紙: 苅川真弓

企画・調査: 堀田守

観察会: 山田博一

保全: 吉川洋行

研修は、愛知県の自然を知ることテーマに 7/4(日)・9/23(祝)・11/23(祝)に実施。

※ 7/4(日)午後、なごやボランティア・NPO センターの会議室(36 人)を確保済み

②年間スケジュール ・年 4 回を予定

4/10(土) ①役割分担②年間スケジュール

8/21(土) ①会員把握 ②各部会進捗状況 ③助成金情報・申請(含・事業検討) ④顧問について

12/(未定) 来年度の事業予定検討

2/(未定) 総会に向けての検討

2. 経理規定 (第 8 条) 検討

8 条 観察会の損害保険の保険料は、協議会及び支部が主催のものは会が負担し、支部が認めた定例観察会は、2 割を(10 円)を補助する。

改正) 観察会の損害保険の保険料は、理事会がめたものは協議会が全額を負担し、支部が認めた観察会は、2 割を補助する。

3. その他

①保険担当者より 16 年度の保険料は、前年度と同様の保障内容で 256,000 円となったとの報告。

②署名運動のちらし・イベントちらしなど封入依頼について

事務局を通して会長に報告するルートとし、会員 1 名、同伴につき年 1 回とすることを確認。

③ふるさと親子自然観察会: 後援依頼のため終了時間確認

④協議会運営について

リアルタイムでの情報交換の必要性

→ ML(メーリングリスト)の活用

情報発信 → 課題・協議会のホームページ作成

⑤理事会にて検討したい事柄・提案などがある場合は、事前連絡すること。

日 時 2004 / 4 / 13 PM2:00~5:30

場所 なごやボランティア・NPO センター

◆議題

1. 組織運営についての確認

組織図に基づき保全担当も含めて担当を決定する

各担当者を互いに盛り立て助け合って運営を行う

(事務局 近藤)

規約訂正のお願い

去る3月20日の通常総会において規約の変更がありましたので、お知らせします。

前回93号に封入の総会資料、規約(案)の下記部分の訂正をお願いします。

記

第5条(1)「・・・会員は家族会員として扱う。」

↓

改正後「・・・会員は家族会員として扱うことができる。」

第10条3項「監事は、理事をかねることはできない。」

↓

改正後 4項に繰り下げ。

上記により3項に下記を追加。

「会長、副会長、事務局長、会計は理事の互選により定める。」

第23条 (1)及び(2) 事務局長 → 会長

第24条 (1)及び(2) 事務局長 → 会長

第25条 事務局長 → 会長

第28条 事務局長 → 会長

協議会役員新体制

平成16年度～17年度

～よろしくお願ひします～

会 長	中西 正	
副会長	鬼頭 弘	松尾 初
監 事	南川陸夫	脇田孝仁
理 事	石田晴子	井城雅夫 大谷敏和
	近藤記巳子	佐藤国彦 齋竹善行
	巾 賢治	苅川真弓 堀田 守
	吉川洋行	山田博一
	今泉洋良	梶野保光 滝田久憲
	降旗光宏	三田 孝

平成15年度までの役員及び理事

～ありがとうございました～

会 長	大竹 勝
副会長	中西 正 松尾 初
監 事	鬼頭 弘 間瀬美子
理 事	石田晴子 大谷敏和 近藤記巳子
	佐藤国彦 齋竹善行 巾 賢治
	苅川真弓 堀田 守 山田博一
	吉川洋行 吉田裕孝
	今泉洋良 梶野保光 滝田久憲
	長谷川洋二 降旗光宏 山原勇雄

ふるさと親子自然観察会

協議会では6月の環境月間にちなみ本年平成16年度も、愛知県各地で環境のすばらしさ・大切さを自然観察を通して伝える活動を展開します。

各支部で取り組みが始まっています。指導員ひとり一人が積極的に関わりたいものです。

尚、各支部の取り組みは、最終ページp12を参照ください。

後援予定 愛知県・(財)自然保護協会

パネル展開催

於・情報ギャラリー

地下鉄「久屋大通」北改札すぐ

4月7日～4月13日、情報ギャラリーで自然観察活動の広報活動の一環として、愛知県各地の自然観察会のパネル展を開催しました。

誰もが外へ出かけなくなるこの時期、一枚一枚、パネルを熱心に見る姿が見受けられました。

今回の反省としては、パネル展示を見ることで、「観察会へ行ってみよう」という気持ちの引き出しには、もう少し工夫が必要と思われます。次回の課題は、さらに多数の人に会場に足を運んでもらうことでしょうか。みなさんの提案をお待ちしています。

エコスポットあいち

愛知県のホームページ

2つの「エコな情報サイト」スタート!

愛知県より、協議会に「あいち豊かな自然100選」の協力要請が昨年9月にありました。各支部などから提供された情報がもとになり「豊かな自然セレクション100」が構成されています。パーチャルフィールドをのぞいてみませんか?

1. 環境情報発信ひろば

エコスポットあいち

<http://kankyojoho.pref.aichi.jp/ecospot/>

◆環境保全技術

①環境技術 セレクション100

②環境技術を訪ねて

◆自然

①豊かな自然 セレクション100

②豊かな自然を訪ねて

参考に同時スタートのエコサイトを紹介します。

2. 環境コミュニケーションひろば

エコスクエアあいち

<http://kankyojoho.pref.aichi.jp/ecosquare/>

行 事 予 定

ふるさと親子自然観察会

日時	集合場所	テーマ	問い合わせ	その他
5/9 (日) 9:30 ~12:30	公園尾張旭市 森林公園	野の花と昆虫	尾張支部 長尾 0568-82-7124 吉田 0561-52-7637	植物園入園料 大人 200 円 子ども無料
5/16 (日) 9:30 ~12:00	常滑市鬼崎漁港 名鉄蒲池駅下車 徒歩 3 分	海岸の生きものを 見よう	知多支部 山田 0569-22-4660	バケツ・タモ持参 靴 (サンダル禁止) 要・子どもの着替え
6/5 (土) 10:00 ~12:00	鶴舞公園 JR・地下鉄 鶴舞下車徒歩 1 分	都市の自然	名古屋支部 森 052-832-1126	筆記具持参
6/6 (日) 9:30 ~12:00	蒲郡市竹島海岸 竹島橋もと	海岸の生物と 竹島の植物	東三河支部 岩瀬 0532-45-9111	
6/13 (日) 10:00 ~15:00	新城市中宇利 比丘尼城址	ササユリと 蛇紋岩を見よう	奥三河支部 今泉 05362-2-2968	昼食・雨具持参
6/27 (日) 10:00 ~12:00	小原村篠平 国道 419 号線沿 小川商店横	ホテルの出る里の 環境と自然	西三河支部 加藤 0565-65-2802	

編集スタッフ

稲生 和久、岩沙 雅代、近藤 記巳子
齋竹 善行 古川 俊江、苅川 真弓、
松尾 初、横井 邦子、吉田 裕孝

◎みなさまのご意見・ご感想など原稿を
お寄せください。

尚、頂いた原稿は内容を変えない程度に加筆・修
正する事があります。あらかじめご了承下さい。

「協議会ニュース」に関する宛て先(編集部)
〒445-0863 西尾市葵町 4-4 苅川 真弓

編 集 後 記

通勤経路にある桜はもう完全に散ってしまいましたが、歩道の植え込みに一斉に咲きだしたタンポポは、まだまだ黄色の花を咲かせ続けています。そしてスミレも縁石のわずかな隙間から紫色の花を咲かせているのを先日見つけました。今年の春は暖かく穏やかな日が続いています。新年度に新しい生活や活動を始められた方も多いと思いますが、' 初心忘るべからず ' の気持ちで頑張ってください。 稲生和久

愛知県自然観察指導員連絡協議会 事務局

〒457-0006 愛知県名古屋南区鳥栖 2-6-17 桜本町 CH101
近藤 記巳子 Tel/Fax 052-22-7460